



2023年夏の対市交渉

教育活動、働き方改革の施設設備の管理、給食を「穴あき解消」「業務削減」「学校の裁量権尊重」を

枚方教組は7月14日(金)に2023年夏の対市交渉を開催。対市要求書を提出するとともに、現場の切実な要求や声をもとに、市教委に対して対応を求めました。

声を上げ、要求し、交渉することで実現したことがたくさん

対市交渉は毎年夏と冬に実施されており、労働組合法に基づき、市教委担当者と直接要求について質問や意見を示して、市教委からこれに対する回答を聞くことができる貴重な機会です。



交渉の席では、すぐには明確な回答は得られなくても、長年の組合の交渉での要求、追及によって、この間実現してきたことがたくさんあります。

○土曜授業実施の自由化・代休措置の実現 ○短縮授業・5時間授業設定など、授業時数の弾力的な扱い

○小学校陸上大会、駅伝大会の参加方法見直し・教員負担の軽減 ○中学校タテ持ち授業の学校裁量化

これらは枚方教組が長年対市交渉を中心に粘り強く要求してきたものが実現してきています。ほかにも多くの要求が組合の取り組みによって実現してきています。

総合教育部 給食の無償化、公会計化、運搬負担軽減を危険個所、施設設備の専門家による点検、空調の早急な更新を

分会からの主な発言

- 古い鉄の窓枠の改修をしてほしい。教室エアコン、かなり古くなっていて心配いつ更新できるのか。
- 児童用の更衣室がなく、教室などで更衣しているが、全国でも起きている、タブレットによる不適切な事案も心配。計画的に設置を。
- エレベータの計画出ているが、校舎間、校舎内移動に困難な箇所、遠回りになる箇所もあり、視覚障害の子どもにも配慮した総合的な計画を作ってほしい。
- 運動器具、遊具による死亡事故、後遺症残る事故が各地で報道され、賠償訴訟にもなっている。消費者庁の報告書が指摘する専門家による点検、対応をしてほしい。
- 中学校全員喫食は有意義なことだが、昼休み時間、運搬配膳の負担が課題。エレベーター設置も含めた負担軽減策の実施を。
- 文科省も求めている給食費の公会計化を。四条畷も実施している。さらに小学校も含めた給食無償化が全国に広まり、高槻でも実施している、ぜひ枚方でも実施を。
- エアコンだけでなく屋上などの断熱などできないか、エアコンが効かない教室がある。
- トイレの清掃、乾式になり難しい中で、ぜひ業者による清掃を実施してほしい。

市教委の主な回答

- 鉄の窓枠について優先的に改修進めている。計画に基づき順次対応したい。
- エアコンについては十数年経過している、順次入れ替えしていきたい。検討が定まり次第、更新計画を公表予定。
- 中学校給食について、学校を回り課題意見を聞いている。連携しながら進めたい。
- 給食無償化は費用の問題で難しいが、国の動向見ながら引き続き要望したい。
- 給食公会計化は、検討を進めている。
- 35人学級と教室確保について、不足のないように取り組んでいきたい。



学校教育部

教員不足の実態示し、市教委が保護者に理解を得る取り組みを業務削減を、部活動の負担軽減、研修、研究授業の見直しを

分会からの主な発言

- 去年「学びの場の選択」で現場混乱。通級を選ぼうとしたのに設置されず、通常学級に入ったが投稿が難しくなる生徒も出ている。いつ、設置されるのか示してほしい。
- 特別支援教育支援員も不足していると聞く、確保してほしい。
- 通常学級での特別支援対応が重要になる中、支援コーディネーターが動けるように、加配の支援員の時間数をもっと拡充してほしい。
- 部活動地域意向を学校任せにせずに、市教委が方針を打ち出して取り組んでほしい。
- 5月任用の講師が来ないまま。少人数授業できないだけでなく、3年の学年運営、部活動顧問にも支障。
- 業務改善で業務削減してほしい、自校採点どれだけ必要性あるのか？
- 配慮が必要な支援学級在籍生徒、指導困難な生徒が多く学級経営、授業など対応が困難になるケースが出て、学校総出で対応に当たっているが限界。人をつけてほしい。

市教委からの主な回答

- 業務アシスタント、予算確保が困難な中だが、昨年の10人から21人に拡大している。検証しながら今後につけたい。
- 少人数学級など市独自の取り組みは、欠員もある中で難しいと考えている。
- 欠員にならないためにもメンタルヘルスに力を入れていきたい。
- 通級指導教室の全後背地を目指している、準備ができ次第進めたい。
- 支援コーディネーターの加配については支援学級数の多い学校を優先。トータルの時間を増やせるようにしていきたい。
- 不登校対応で、ルポでも取り組みに力を入れている。小学校にも校内での対応教室を9校設置。今後拡充していきたい。
- 部活動の地域移行について、あり方懇談会を設置して検討開始している。当面は各学校の部活動方針をもとに保護者にも理解を求めながら進めていくことが大切と考えている。

菅書記長 教職員・講師の声を聞いて、根本的な働き方改革を

菅書記長からは、「教員不足など危機的な実態を保護者にも示しながら、業務削減の理解を得るべき」「講師確保が難しいなら、講師の声を聴いて、業務負担の改善など取り組むべきでは」「『学校活性化』と30年来続けているが、見直すべきでは」「市教委の教員の声をもとにした業務改善の取り組み、現場の業務だけでなくもっと広げて改善見直しにつなげるべきでは」と市教委への対応を強く求めました。

中教審「質の高い教員確保」特別部会

7月末に「働き方改革(直ちに取り組むべき)緊急提言」策定へ

自民党の教員の人材確保の特命委員会の提言を受けた形で、6月26日に中教審で「質の高い教員確保」特別部会が開催されました。

部会では、「(教員の)仕事が大変な危機に見舞われている。日本の将来のために、本気で総合的に取り組むことが必要」などの発言が多く出され、教育の質確保と教員の負担軽減に向け、社会全体に対して危機意識の共有を求める発言が相次いだとされます。

特別部会では、7月末にも働き方改革での緊急提言を策定し、今すぐやるべきことを明らかにしたいとしています。

自民党案

「調整手当・諸手当の一部上乘せ」はさらなる多忙化・タダ働きに

自民党の特命委員会の提言では、「教員の職務は高い専門性・裁量性の求められる」ことを論拠に、時間外手当の支給を否定し、調整手当や諸手当の一部上乘せで対応するとしています。中教審の特別部会でもこの提言を下敷きにした検討が行われる恐れがあります。

日本の教員には厳しい出退勤管理が行われ、欧米諸国のように授業以外の退勤の自由や長期休業中の出勤の必要性のないような裁量性は一切認められていないのが現実です。

言葉だけ専門性・裁量性を掲げて、一部の手当で見直しで対応するなら、さらなる多忙化や、タダ働きが求められ、それこそ教職を敬遠する風潮を助長するだけです。

内田良さん、中嶋哲彦さんらよびかけの給特法見直し署名を広めましょう

教育研究者らによる給特法見直しの署名が呼びかけられています。

給特法をめぐる「廃止」や「見直し」など様々な考えのある中で、内田さんや中嶋哲彦さんらが一致できる3点について共同で署名を呼び掛けて広めていくことを訴えています。

時間外手当の支給を柱にすることで、市教委・管理職に勤務時間についての責任を明確にして、長時間勤務を防ぐ仕組みを作ることが重要です。

「質の高い教員確保」特別部会 論定整理

◆ さらなる学校における働き方改革

- ◎「楽興・教師が担う業務の3分類」について業務量も含めた再検討
- ◎時間外勤務の「上限指針」(月45時間、年360時間)の実効性確保
- ◎各教委における働き方改革の取り組み状況の「見える化」
- ◎健康・福祉の観点から長時間の時間外勤務を抑制する仕組みの構築

◆ 学校の指導・運営体制の充実

- ◎より柔軟な学級編成や教職員配置
- ◎子どもや学校、地域の実態に応じた柔軟な教育活動の実施
- ◎中学校を含めた35人学級の構築
- ◎小学校高学年教科担任制の強化
- ◎教員業務支援員の配置拡大

◆ 教師の処遇改善

- ◎旧特報の教職調整額(給与の4%)と超勤4項目の見直し
- ◎「職務の特殊性」に対する考え方
- ◎時間外手当の支給に対する考え方
- ◎職務に応じた手当など「給与のメリハリ」の在り方

給食無償化 府内12市町村で無償化の取り組み実施 枚方でも「お金の心配ない学校生活」、「働き方改革」へ

対市交渉の中でも、学校給食の無償化、公会計化について取り上げ、市教委に強く要求しています。

市教委は無償化については、「費用の問題で難しい」としていますが、府内では、すでに12市町村で小中の何らかの形で無償化が広がっています。

無償化などの取り組み	
小中・恒久無償化	大阪市、高槻市、他4町村
中学校恒久無償化	交野市、寝屋川市、東大阪市、
今年度内、あるいは一部期間無償化	堺市(小)、吹田市(小)、茨木市(小)、豊能町(中)、寝屋川市(小)、守口市(小)、門真市、大東市、東大阪市(小)、八尾市、柏原市(小中)、松原市、藤井寺市、富田林市、狭山市、高石市、岸和田市、泉佐野市、泉南市、熊取町、
一部補填	堺市(中)、吹田市(中)、摂津市、豊中市、箕面市、島本町、枚方市、東大阪市(小)、河内長野市、和泉市、阪南町、忠岡町、岬町
対象限定で無償化	四条畷市(恒久)、羽曳野市(一部期間)、

国でも「異次元の少子化対策」の中に、給食無償化についても触れられてはいますが、今後の具体化についてはまだ不透明です。

子供たちにお金の心配なく学校生活を保障し、先生たちにとっても、給食費会計事務などで働き方改革につながる学校給食の無償化に、枚方市も踏み出すべきです。

大教組夏期学校 8/22(火) 9:00~映画「愛国と教育」上映

安倍政権下で、学校教育が大きくゆがめられてきました。この映画では、もとMBS記者である齊加尚代さんが監督として、教科書がどのように変質させられてきたかをリアルに描いています。教員にとって必見の映画です。

詳しくは枚方教組ホームページをご覧ください。⇒



大教済サマーパーティー



大教済に加入していただいている皆さんに、日頃の感謝を込めて、大教済感謝祭を開催したいと思います。加入している人なら誰でも2000円でお料理と飲み放題のドリンクを楽しめます。この機会にぜひ参加してください。ただし、先着30名となっていますので、お早めにお申し込みください。申込みは右のQRコードから⇒

日時：7月26日(水) 18時から
場所：Moga Joga Dining 枚方宿(枚方公園駅より徒歩1分)
会費：2000円(大教済未加入の方も当日加入でOKです)

主催：全教・枚方教職員組合 072-848-3300

